

神奈川県立相模原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和5年度神奈川県立相模原支援学校第4回学校運営協議会（第4回学校評価部会）	
開催日時	令和6年2月27日（火）14:30～16:00	
開催場所	相模原支援学校 実習棟 2階 縫製室	
出席者	学校運営協議会委員8名、本校職員：事務局10名（内総括教諭7名）【欠席2名】	
次回開催予定日	令和6年5月28日（火）14:30～15:50（第1回切れ目ない支援部会 13:40～14:20）	
問合せ先	神奈川県立相模原支援学校 副校長 比留川はるか 電話 042-778-0818 FAX 042-778-4957	
掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由
審議・会議経過 【学校運営協議会（学校評価部会）】	<p>1 開会 本日の日程・配付資料の確認、会長・学校長挨拶</p> <p>2 報告及び協議</p> <p>(1) 切れ目ない支援部会について[事務局より活動報告と、にじいろループの内容を説明]</p> <p>(2) 今年度の報告</p> <p><令和6年度教育課程改善の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の質を高めるため意見収集したい。12月の保護者説明会では授業時数が減るが、保護者からはどんなメリットがあるのかとの意見があった。 ・12月の保護者説明会に参加した。授業時数が減るとのことで多少の心配はあったが、減る分の教育内容については別の時間で行われるとの説明を受け、概ね理解した。下校時刻が早くなることは、働いている保護者から心配の声があがるのではないかと。放課後等デイサービスの報酬改定もあり、影響する可能性がある。 ・時数を減らすことでつめこみ教育になるのか。教育課程でどれほどの目標達成をするのか。最終的には、保護者と学校どちらにもメリットがあればよいのではないかと。 ・時数を減らした分は他教科で補うという考えは理解するが、そのことで教員にとって負担になったら本末転倒である。ここ数年は負担がかかることが予想される。 <p><令和5年度業務改善の取組と効果検証></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善と授業時数を減らすことは内容を整理して進める必要がある。業務改善は、教員の業務をいかに健全化していくかである。どのように業務内容を整理していくか。 ・業務削減で捻出する時間をどのように使うか。例えば今授業準備に追われている状況から、このように整理して、どんな風に変わっていくか。資料にもその見せ方が載っているとよいと考える。 ・企業的に考えると、その仕事はいくら分かつという話になる。コスト意識がないと、なかなか仕事を効率的に進めることができないのではないかと。 ・保護者によって考えは異なる。自分としては、集団生活と社会性（コミュニケーション）が学校でしか学べないと思っている。保護者は家でできないことを学校に求めてくると思うので、家と学校との役割を明確にしていくとよいのではないかと。 <p><令和6年度 学校教育目標・グランドデザイン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学ガイドラインを作成中である。子どもにとってどうしていくのがよいか、学びの保証をしながら保護者と一緒に考えていく。今後原当麻駅までスクールバスを利用し、駅から徒歩で登校する等、次のステップを踏まえながら通学について考えていく。 ・「安心・安全な学校運営」とあるが、業務改善の現状を見ると労働災害の域である。机のささくれで怪我をすることは結構大きなことである。具体性はあるのか。 ・児童・生徒指導の内容で、生活面や子どものメンタルヘルス、生活指導の部分があるとよいか。 ・1人1台端末について、高校ではすでに行われているが、実際に使用しているかという根本が問われている。生徒が自分のスマホを使用しているのが現状であり、活用は個々の教員に任されている。パソコンはツールであり、使用すること自体が目標ではない。 ・地域の自治会など、子どもを地域全体で育てていくのが協働であると考えているが、その部分が抜けていると感じる。子どもだけではなく、教員の安全・安心に学べるように、といった内容はなくてよいだろうか…。時間を越えての議論となったが本日はここまでとしたい。 <p>3 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程調整方法及び今後の予定、次年度委員の委嘱について、等の確認 <p>4 閉会 会長・学校長挨拶</p>	